

福島県花き振興計画の概要

1 テーマ

「百花繚乱」咲き誇れ ふくしま花物語

生産額64億円の達成

2 市場・実需者ニーズ

市場

- ・ 仏花はお盆、お彼岸などの需要期にもっと量が欲しい！
- ・ 気候に負けない安定した品質、量を供給して欲しい！
- ・ 輸出の引き合いがある枝物等の生産も期待している！
- ・ 産地ごとに消費ターゲットを明確にして欲しい！
- ・ 輸送費高騰に対する対策が必要だ！



実需者

- ・ できれば県産・国産を使用したいが、物量がなければ輸入物しかない！
- ・ 需要拡大に向けた取組が必要だ！



3 生産の課題

生産

- ・ 高齢化・後継者不足による産地規模の縮小と原発事故の影響による生産者の意欲が低下
- ・ 温暖化等、気候変動に伴う開花期の変動と年次格差の増大
- ・ 生産資材、燃油価格、人件費の高騰等生産・輸送コストの増大



4 振興の方向性

生産

- 主要6品目群の生産拡大と浜通り等重点地域への産地展開
- 施設化・省力化技術、革新的技術の導入による出荷時期制御
- 市場・実需者から「求められる産地」へ

流通

- 集出荷施設の整備、集出荷・輸送の効率化、鮮度保持対策
- 輸出の促進、贈答需要等の消費者ニーズへの対応、認証制度の利用

消費

- 花育、各種品評会の開催、オリパラ等の各種ビッグイベントでの活用推進

- き く：電照等の開花調節技術導入による確実な需要期出荷
- 宿根かすみそう：電照技術導入による出荷期拡大と高品質・安定供給体制の強化
- りんどう：計画的な株更新による収量・品質確保と品種リレーの再構築
- トルコギキョウ：環境制御技術の導入と的確に消費ニーズを捉えた産地形成
- 枝物類：多様なニーズに対応できる特色ある品目選定と産地の醸成
- 鉢物類：省エネ・低コスト生産技術の導入と県産ブランド力の向上

5 生産目標

花き全体

主要6品目群

	H22	H29	H37
作付面積	601ha	442ha	550ha
出荷数量	76,756千本	58,730千本	73,500千本
生産額	63億円	48億円	64億円

	H22	H29	H37
作付面積	462ha	350ha	430ha
出荷数量	52,284千本	42,304千本	53,000千本
生産額	41億円	34億円	45億円

6 計画期間

平成31～37年度

(県園芸課調べ)